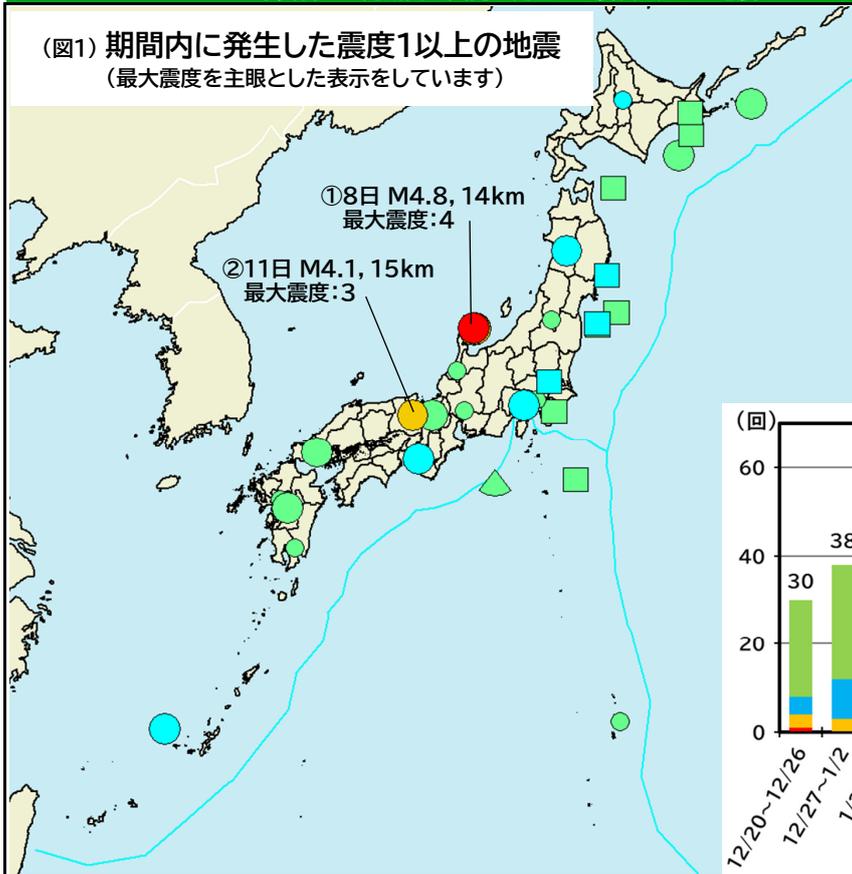


この期間の最大震度は4 (能登半島北東部)

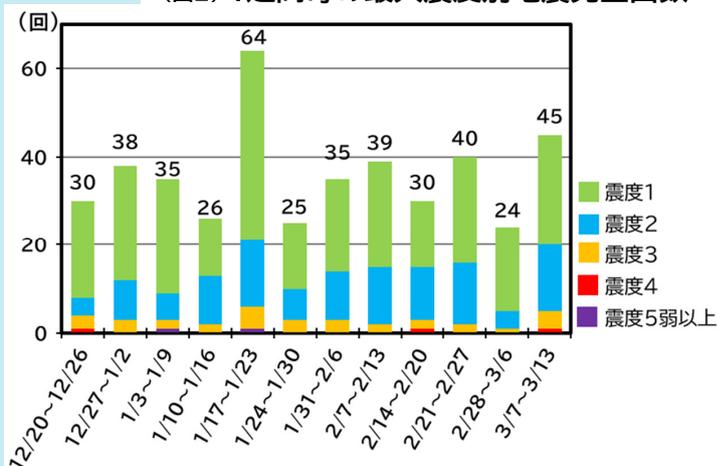
本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典:気象庁震度データベース/地震情報)

(図1) 期間内に発生した震度1以上の地震
(最大震度を主眼とした表示をしています)



最大震度	マグニチュード	深さ(km)
震度5弱以上	7.0	0
震度4	5.0	30
震度3	3.0	90
震度2		
震度1		

(図2) 1週間毎の最大震度別地震発生回数



主な地震の発生状況 (図1,図2参照)

■ この期間、震度1以上の地震が45回発生。最大震度は4(能登半島北東部)。 ■

①8日01時58分に能登半島沖で発生した地震(M4.8、深さ14km)により、石川県珠洲市で震度4を観測したほか、中部地方と福島県、栃木県及び群馬県で震度3~1を観測。この地震は地殻内で発生したもの。(トピックス参照)

②11日17時59分に兵庫県南東部で発生した地震(M4.1、深さ15km)により、兵庫県朝来市・三田市・丹波篠山市・丹波市、京都府福知山市で震度3を観測したほか、福井県から岡山県にかけて震度2~1を観測。この地震は地殻内で発生したもの。

トピックス

■ 能登半島北東部の地震活動 ■

- 石川県能登半島北東部では2020年12月から地震活動が活発になり、2021年7月頃から更に活発になっており、現在も継続している。
- 最大規模の地震は、2021年9月16日に発生したM5.1(最大震度:震度5弱、珠洲市)の地震で、能登半島北東部の狭い範囲で発生している(図3)。
- 2020年12月1日~2022年3月13日までに震度1以上を観測した地震の合計は98回。この期間は、最大震度4が1回、震度3が3回など、震度1を観測した地震は、これまでより多い状況(図4)。
- このような比較的狭い地域で頻発する地震活動は群発地震と呼ばれることがあり、マグニチュードが際だって大きい地震がなく、震源が浅いことなどの特徴がある。
- それほど大きなマグニチュードでなくても、震源が浅い、いわば足元で発生する地震なので、マグニチュードの割には震度が大きくなるので注意。
- この地震活動の原因は不明だが、地震が起こっている地域の地下で何等かの原因により、ひずみが高まり、そのひずみを解消しようとしているための活動と推測される。
- 何等かの原因として、地下水の動きによって、地下でひずみが高まっている可能性を指摘する考えもある。
- 群発地震として有名な長野県の松代群発地震は1965年8月から発生し3年以上続いた。最大Mは5.4。最大震度は(震度5)
- 松代群発地震は、地下から上昇してきた水の影響によるものと考えられている。

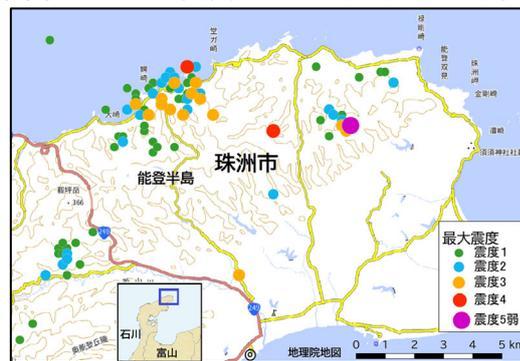


図3:震度1以上を観測した地震の震央分布図 (2020/12/1 --- 2022/3/13)

図4:能登半島北東部 (震度1以上の発生回数:月ごと) (3月13日まで)



最大震度	1	2	3	4	5弱	合計
回数	53	28	14	2	1	98